

平成 17 年 4 月 27 日

各 位

石油資源開発株式会社
代表取締役社長 棚橋祐治

(コード番号:1662)

問合せ先:総務部広報グループ長 下村恒一

(電話:03-5461-7413)

イラク石油省との技術協力について

石油資源開発(株)は、イラク石油省との共同スタディの実施を含む、技術協力覚書に調印しました。同覚書により、石油資源開発(株)は、イラク石油省との間で、共同運営委員会(Joint Steering Committee)を設置し、イラク石油省との共同スタディ及び同省への技術支援を含む、技術協力案件の実施・調整等につき定期的に協議を行うこととしております。

今般、イラク石油省シャーマ次官他の共同運営委員会メンバーが訪日し、4月25日から4月27日の間、石油資源開発(株)と第1回共同運営委員会を開催しました。同委員会では、バグダッド近郊の油田の開発検討、イラク北東部の油田および近郊の探鉱プロスペクトの評価、イラク西部および南部の探鉱ポテンシャルの評価などにつき共同で技術的検討を実施することが合意され、また、石油資源開発(株)からイラク石油省に対して、三次元地震探鉱の実施に必要とされるハード・ソフトの提供を含む技術支援及び探鉱・開発技術ならびに石油契約・ファイナンスに関する教育訓練を実施することが合意されました。

共同スタディの目的は、開発段階の油田に関して石油資源開発(株)が実施中のスタディを完成させること、また、既発見ながら十分に評価が行なわれていない油田および周辺の発見構造の石油システムの評価、ならびにイラク南部の巨大および超巨大油田における深部未探鉱層準の評価であります。さらに、イラク西部の石油ポテンシャルの評価も行ないます。

三次元地震探鉱に関する技術支援に関しては、石油資源開発(株)がイラク石油省職員への技術訓練を実施し、また、必要なソフト・ハードを提供し、イラク国内において石油省が独自に三次元地震探鉱を実施できるような体制作りに協力いたします。更に、石油の探鉱・開発技術ならびに石油契約・ファイナンスに関しても、長期及び短期の各種の教育訓練を実施することとしております。

石油資源開発(株)は、上記支援・協力の実施により、イラク石油省との関係をより強固なものとし、環境が整えば、長期的石油契約の締結を目指します。

以 上